

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和4年度北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	令和4年10月19日（水）午前9時30分～11時15分
開催場所	西脇市役所 3階 大会議室
出席委員の 氏名又は人数	15名
欠席委員の 氏名又は人数	2名
出席職員の職・ 氏名又は人数	オブザーバー6名、事務局4名、各事業担当者
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は 協議事項	1 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンについて 2 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンの具体的な取組内容について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p>（開会あいさつ） 本日は出席いただき感謝申し上げます。 西脇市と多可町には強いつながりがあり、日頃から様々な分野で連携を図っている。本日は両市町の様々な取組について、委員各位に忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>（委員等出席者の紹介） 委員の自己紹介、出席者の紹介</p> <p>（会長・副会長の選出） 浅野委員を会長に、村上委員を副会長に選出</p>
事務局	
西脇市長	
事務局	
事務局	

	(以後、浅野会長が進行)
会 長	(議事1 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンについて) 資料1に基づき、事務局から説明
会 長	(議事2 第3次北はりま定住自立圏共生ビジョンの具体的な取組について) 資料2に基づき、事務局から説明
委 員	(地域公共交通ネットワーク事業について) 西脇市のデマンド型交通の具体的な運行内容について説明をお願いしたい。
担当者	事前に利用登録をした後、電話で予約することで指定した場所まで迎えに行き、乗り合いで目的地まで送迎する。 料金は、65歳以上の方や障害者手帳をお持ちの方などは1乗車 200円、中学生以上64歳以下の方は1乗車 400円である。市内で5台が運行している。
委 員	デマンド型交通の運行に係る事業費はどのくらいか。
担当者	令和3年度においては、デマンド型交通の運行管理業務委託料として市内タクシー事業者に 3,725万6千円を支払った。
委 員	利用登録者はどのくらいいるのか。
担当者	令和4年8月末時点で 3,229人である。
委 員	委託先のタクシー事業者数は。
担当者	市内の二者に委託している。
委 員	予約の受付・調整はどのように行うのか。
担当者	市役所内に予約センターを設けており、オペレーターが予約の受付・調整を行う。予約内容については、オンラインの予約システムにより乗務員に伝える仕組みである。

委員	(移住・定住促進事業について) 空き家だけでなく、空き地も増えてきている。空き家バンクにおいて、空き地の取扱いは行わないのか。
担当者	西脇市では現在、空き地の物件登録についても取組を進めているところである。
委員	(移住・定住促進事業について) 結婚新生活支援事業補助金の実績は何件か。また、除却されずに放置された空き家について、何か対策をしているのか。
担当者	令和3年度においては西脇市で6件、多可町で4件の実績があった。
担当者	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、倒壊等の危険がある空き家については、特定空家等に認定されることで、所有者に対して必要な指導等を行うことができるようになる。令和3年度においては、2件が特定空家等に認定され、いずれも除却が完了した。令和4年度においては、現時点で5件が特定空家等に認定されており、今後所有者に必要な指導等を行っていく。
委員	圏域定着者数の市町ごとの内訳を知りたい。
担当者	西脇市が41人、多可町が107人である。
委員	移住者が多い地区はどこか。
担当者	西脇市においては、西脇地区や黒田庄地区への移住者が多くなっている。多可町においては、加美区や八千代区などの山間部への移住者が多くなっている。
委員	多可町から西脇市内を通り、滝野社インター方面へ行くとき、道路が入り組んでおり道順が分かりにくいという声をよく聞く。今後の取組は何か予定しているのか、
担当者	国道427号については、期成同盟会を通じて国へ整備促

	<p>進を要望しているところである。また、西脇北バイパスについても整備を進めている。</p>
委員	<p>(地域公共交通ネットワーク事業について)</p> <p>デマンド型交通やバスなどの異なる公共交通をつなぎ、より便利に利用できるようにする「MaaS」のような取組を行う予定はないのか。</p>
担当者	<p>様々な公共交通を組み合わせることでより便利に利用いただけるよう、今後検討していきたい。</p>
西脇市長	<p>群馬県前橋市では、タクシーの車内でマイナンバーカードをタッチすることで、本人の認証を行う仕組みを導入している。そのような先進的な取組ができないか、ぜひ一緒に研究していければと思う。</p>
担当者	<p>令和3年度においては、県から支援をいただき、市コミュニティバスの経路検索を地図アプリで行うことができるようにデータを整備した。今後もこのような取組を進めていきたい。</p>
委員	<p>(地域ブランド普及開発推進事業について)</p> <p>令和4年度の多可町における具体的な取組内容を知りたい。</p>
担当者	<p>地域商社に対する運営補助やタウンプロモーション、町の認証商品のPRに関する費用などを見込んでいます。また、大学生と連携し、新規事業の立案等に取り組んでいます。</p>
委員	<p>(農産物直売所運営事業について)</p> <p>生産者の高齢化が進んでおり、若手の育成が課題となっている。農業法人等に就職し、経験を積むという方法もあるが、なかなかそのような就職先がない。特に若い女性の就農が増えればと思う。</p>
担当者	<p>西脇市内には農業法人が8件あるが、いずれも規模は小さく、求人も少ないのが現状である。市内で農業法人の立上げを検討している方への支援を行い、就農につなげたいと考えている。</p>

委員	北はりま旬菜館の店舗や駐車場がやや狭いと感じる。播州織や釣針などの特産品を展示できるスペースもほしい。飲食店のある場所が離れていて、一体感があまりない。バスが乗り入れられるようになれば、高齢者にとっても入りやすい施設になると思う。
担当者	現時点では駐車場の増設等は考えていないが、利便性の向上のためにできることはしていきたい。
委員	(文化交流事業について) 西脇市のアピカホールやオリナス、みらいえなどの施設は、多可町民も多く利用している。また、多可町のベルデイホールは西脇市民も多く利用している。これらの施設を両市町の住民にとって相互に利用しやすくしてほしい。
担当者	各施設においては、両市町のイベントを相互に情報発信し、集客に努めている。今後も各施設の利用促進につながるよう、必要な連携をしていきたいと考えている。
委員	(文化交流事業、スポーツイベント交流事業について) オリナスでのイベントには、人気が高くチケットが入手しにくいものがある一方で、来場者が少ないものもあり、今後工夫が必要である。 スポーツの分野では、学校の部活動の地域移行が議論されている。子どもたちがスポーツをする機会を守るため、今後の取組をどのように考えているのか。
委員	西脇市では、スポーツクラブ21で学校の部活動を受け入れるのは難しいと考えている。令和4年度中に実態の把握と今後の方向性の検討を行うとともに、移行のためのロードマップを作成し、令和5年度に検討委員会を立ち上げる予定である。
委員	多可町内の介護施設同士で連携を図るため、協議会の立上げを進めている。連携を進める中で、何か新しい取組につながればと考えている。
委員	市街化調整区域では、家を建てたり、事業を始めたりす

	<p>るのに制約があり、若者が帰ってきにくいのではないかと感じる。若者や子どもにとって住みやすいまちであってほしい。</p>
委員	<p>(地域医療施設整備事業について)</p> <p>多可町内診療所数の目標が9件、実績も9件となっているが、この数値の意味は。</p>
担当者	<p>令和5年度には10件にするという目標を掲げている。現状は9件であり、ひとまず必要な数は確保していると考えている。</p>
委員	<p>診療所を増やすことが目的であれば、新規開設数を指標にするほうが分かりやすいのではないか。</p>
会長	<p>開業を検討する医師へのアプローチをどのようにしているのか等、事業のプロセスが分かるように工夫をお願いしたい。</p>
委員	<p>(水位監視対策事業について)</p> <p>河川水位監視カメラ等設置箇所数について、令和3年度で22箇所と目標値を達成しているが、今後も設置箇所を増やしていったほしい。</p>
事務局	<p>(事務連絡)</p>
多可町長	<p>(閉会あいさつ)</p> <p>北はりま定住自立圏の取組を開始してから12年が経過しているが、ごみ処理施設の整備等で成果が上がっている。</p> <p>また、本日も質問のあった都市計画の分野では、西脇市・多可町だけでなく、国・県と連携しながら取組を進めていく。</p> <p>引き続き委員各位の御協力をお願いする。</p> <p>(閉会)</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部企画調整課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>